

主要事業評価シート(第2次実施計画 / R1・2・3年度)

基本事項	計画コード	事業名	部名	健康福祉部
	17086	かめやまげんきっこ育成事業	課名	子ども未来課 子育てサポートG
	施策の大綱	04:子育てと子どもの成長を支える環境の充実	財務科目	01:一般会計
	基本施策	02:安心して産み育てられる環境づくりの推進	款	03:民生費
	施策の方向	01:健やかに産み育てられるための支援の充実	項	02:児童福祉費
戦略プロジェクト	05:「そして、親となるまち」プロジェクト	目	01:児童福祉総務費	
事業予定期間	H 27 ~ R - 年度	主な根拠法令要綱等	児童福祉法	

目的・概要	対象	就学前児童、中学生
	目的	運動能力の成長におけるゴールデンエイジである乳幼児期の運動活動を促し、健康的な心身の発達や運動能力の向上を図るとともに、読書による豊かな心を育み、子どもたちが将来に渡って健康的な生活を営む力を養うことを目的とする。
概要	かめやまげんきっこフェスティバルを開催し、地域子育て支援センターの交流を図るとともに、各支援センターでの子育て講座を展開し、子どもたちの発達を促す。また、豊かな心を育むため、ブックスタートを実施し、絵本の読み聞かせ講座等を展開する。さらには、かめやまげんきっこを育成するための人材を養成するため、リーダー養成講座を開催するとともに、市内の中学生を対象としたライフプラン教育を行う。	

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
事業の計画・実績	年度計画	かめやまげんきっこフェスティバル開催 子育て講座の開催 心の栄養読み聞かせ事業 リーダー養成講座の開催 ライフプラン教育(中学生)	かめやまげんきっこフェスティバル開催 子育て講座の開催 心の栄養読み聞かせ事業 リーダー養成講座の開催 ライフプラン教育(中学生)	かめやまげんきっこフェスティバル開催 子育て講座の開催 心の栄養読み聞かせ事業 リーダー養成講座の開催 ライフプラン教育(中学生)	
	年度実績	・かめやまげんきっこフェスティバルの開催(来場者329人:保護者159人:子ども170人) ・子育て講座の開催(メイン講座3回、拠点講座56回、延べ参加数:2389人) ・ブックスタートの実施 ・リーダー養成講座の開催 ・思春期ライフプラン講座の実施(3中学校)			
事業の計画・実績	計画額	事業費	1,500千円	1,500千円	1,500千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	予算額	事業費	1,480千円		
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	決算額	事業費	1,331千円		
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
人件費	一般財源	1,331千円	0千円	0千円	
	総人件費	6,279千円	0千円	0千円	
	一般職員	6,279千円	0千円	0千円	
	所要人員	0.80			
会計年度任用職員等		0千円	0千円	0千円	
総コスト(+)		7,610千円	0千円	0千円	
受益者負担率		0.0%	0.0%	0.0%	

			令和元年度	令和2年度	令和3年度	
指標	名称	地域子育て支援センター利用者数	計画値	36,400	36,500	36,600
		市内5ヶ所の年間利用者数	実績値	29,639		
			単位	人	人	人
	名称	講座開催数	計画値	40	40	40
		各種講座開催数の合計	実績値	56		
			単位	回	回	回
	名称	講座参加者数	計画値	1,000	1,000	1,000
		各種講座参加者数の合計	実績値	2,389		
			単位	人	人	人

事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 ベビーのつどいを定期的に開催し、新規利用者を増やしていく。また、広報やホームページを活用し、たくさんの人に向けた周知を行うとともに、今までになかった絵本交換会等、参加者同士の交流が進むような新しい企画も考えていく。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 今年度もイベント内容に「パパと遊ぼう」講座を開催し、父親にも子育ての楽しさや我が子の成長を喜ぶ機会を持つようにした。また、ブックスタートでは絵本の読み聞かせを定期的に行うことで、乳幼児から絵本に親しめる機会を持ち、親同士の子育ての悩みや相談ができる場にも繋げることができた。

		評価	(判定)
事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 フェスティバルや子育て講座、ブックスタート等計画通りに実施し、前年度より多くの参加者を得た。フェスティバルの開催に際しては、乳幼児がのびのびとあそべるコーナーや気軽に楽しめる手作り玩具、運動用具を整えたこと、また、赤ちゃん駅を設置したこと等により、親も子も一緒に楽しく過ごし、喜んでもらうことができた。また、子育て講座については、アンケートをもとに講座の内容を工夫したこともあり盛況に繋がった。更に、ブックスタートでは、子育て支援センターで絵本の読み聞かせを行い、リーダー養成講座については、支援が必要な子に対する支援方法や具体的内容を学ぶ機会とした。	B まずは実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 フェスティバルの内容に運動あそびを取り入れることは、子どもの心身発達の向上に効果的であり、また赤ちゃん駅を設置することで、乳幼児親子が外出しやすい環境づくりと保護者の負担軽減にも繋がっている。一方、子育て講座では、参加者の関心のある内容とすることで、子育てに対する意識が高まるとともに、ブックスタートでは、絵本を通じた親子のふれあいにより、コミュニケーションがさらに深まるきっかけとなった。こうした事業は、地域子育て支援センターの利用の促進にも繋がっているものの、保育料の無償化等で就園率が増加していることや新型コロナウイルス感染症対策の影響等から利用者数としては減少となっている。	B まずは成果を得た

今後の対応方針	課題	【課題は何か】 フェスティバルの参加者増加による安全の確保や、イベント内容についての要望に応えるようなコーナーの工夫が必要である。また、子育て講座については、子育て世代の情報交換や親自身が自分の課題を認識し、成長できるような内容が求められるとともに、ブックスタートにおいては、親しみがもてる内容や物語の絵本を選び、多くの子育て世代へ広く発信していく必要がある。	今後の方向性 □ 拡大 ☑ 現状維持 □ 縮小 □ 廃止 □ その他 【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 昨年度のアンケートをもとに、参加者のニーズを取り入れ、子どもがのびのびと遊べる環境やコーナーを増設する。また、子育て世代を対象とした多様な内容の子育て講座を開催するとともに、ブックスタートについても、絵本選びから始まり、その内容をしっかり発信していく。 いずれの取組も効果的に発信するため、今年度から運用開始した「かめやま子育てライオン」を活用していく。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 フェスティバルでは、参加者が増加することで、健康的な心身の発達の一層の広がりと、今後の支援センターの利用増加にも繋がる。また、子育て講座を定期的に行うことで、子育てについての学びの場や仲間づくりの機会が増えるとともに、ブックスタートでは、絵本に触れ合いのツールとすることで、親子のスキンシップやコミュニケーションの深まりが期待できる。	
対応時期		令和2年度	

【1次評価者】	健康福祉部 子ども未来課 子育てサポートグループリーダー 高重 京子
【最終評価者】	健康福祉部 子ども未来課長 豊田 達也

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	A	B	B		
	成果	A	B	B		

令和元年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		1,480 千円
内訳	平成30年度からの繰越額	千円
	令和元年度の最終予算額	1,480 千円
	令和2年度への繰越額	千円